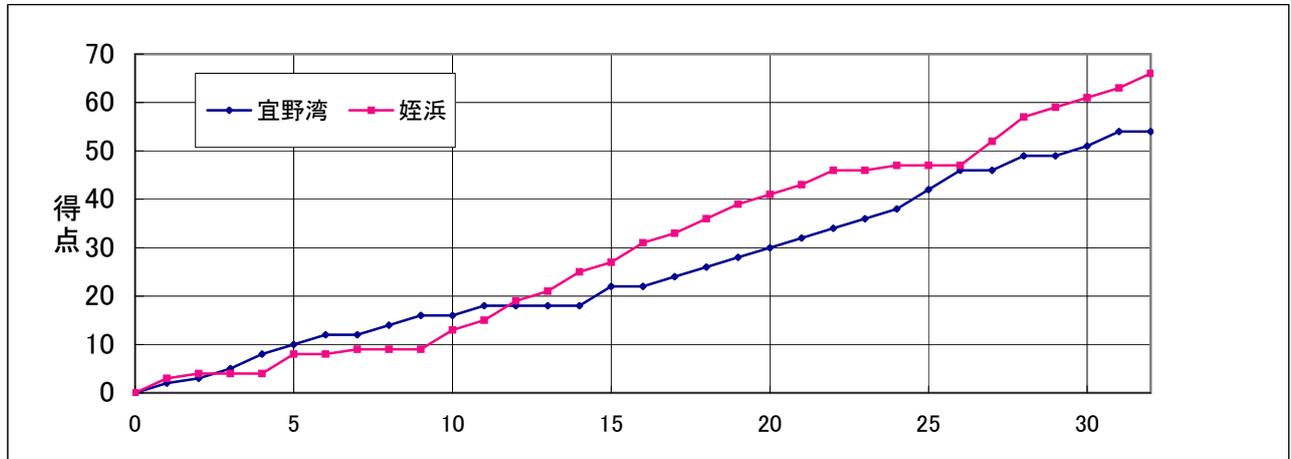


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	B6	14:50	男子2回戦
	期日	2010年(平成22年)3月13日(土)	●	○
会場	大分県立総合体育館			

主審 豆塚 宣男 副審 森永 洋一



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
12:01 13:47	26:44 30:08	—	—

宜野湾

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 上間 麗 央	17	0	8	1	1
5	神 谷 龍	—	—	—	—	—
6	* 安里 拓 真	9	1	3	0	3
7	* 仲本 賢 志 郎	17	1	7	0	1
8	* 玉 吉 史 享	7	0	3	1	0
9	* 与 那 嶺 真 吾	4	0	2	0	3
10	久 手 堅 力	—	—	—	—	—
11	金 城 航	—	—	—	—	—
12	泉 川 寛 斗	—	—	—	—	—
13	宇 地 原 翔	—	—	—	—	—
14	城 間 涼 太	0	0	0	0	0
15	宮 里 恭 平	—	—	—	—	—
16	米 須 瑠 太 郎	—	—	—	—	—
17	仲 村 達 也	—	—	—	—	—
18	榮 祐 希	—	—	—	—	—
コーチ 仲松 みのり		—	—	—	—	—
合計		54	2	23	2	8

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:53	22:19 25:16	—	—

姪浜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 柿 内 輝 心 (C)	28	1	12	1	1
5	日 野 大 嵩	6	0	2	2	1
6	加 倉 聖 大	—	—	—	—	—
7	* 野 口 裕 太 郎	2	0	1	0	1
8	北 岡 翔	—	—	—	—	—
9	* 古 賀 達 典	0	0	0	0	3
10	* 入 山 宥 昌	4	0	2	0	5
11	* 山 崎 拓	19	4	3	1	1
12	清 水 駿 佑	—	—	—	—	—
13	本 土 聖 也	—	—	—	—	—
14	久 我 蓮	—	—	—	—	—
15	浦 田 一 郎	7	0	3	1	1
16	土 橋 大 樹	—	—	—	—	—
17	原 直 輝	—	—	—	—	—
18	幾 尾 和 貴	—	—	—	—	—
コーチ 鶴 我 隆 博		—	—	—	—	—
合計		66	5	23	5	13

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦 評

第1Qは、姪浜オールコートマンツーマン、宜野湾ハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、姪浜は#4柿内の3P、対して宜野湾は#8玉吉のインサイドのシュートで攻める。それぞれ一歩も譲らない攻防をみせるが、宜野湾の速攻#4上間のドライブからのシュートで均衡が崩れ始める。姪浜は果敢に攻めていくが、宜野湾の積極的な守りで姪浜の攻撃の芽をつぶしていく。そのため、たまたま姪浜はタイムアウトを取る。タイムアウト直後、姪浜は#4柿内が連続ポイント。しかし、宜野湾は#6安里のインサイド、#7仲本のジャンプシュートが利き、流れを渡さない。この後、一進一退の攻防が続き、14-9で第1Q終了。

第2Qは宜野湾#7仲本のレイアップと姪浜#4柿内のジャンプシュートから始まった。第1Q宜野湾の流れを引き寄せた#6安里に対し、姪浜はダブルチームで徹底したディフェンスをおこなう。激しいディフェンスから姪浜は#15浦田の連続ポイントから追いつき、#4柿内のジャンプシュートで逆転。そのため宜野湾はたまたまタイムアウト。姪浜は#4柿内、#11山崎の連続ポイントにより流れは姪浜に移る。残り2分、姪浜は#11山崎の3Pが入った時点で宜野湾は2回目のタイムアウトを取る。直後、宜野湾#6安里のシュートが決まるが、姪浜#4柿内のシュートも決まり、流れは変わらず。この後は一進一退の攻防で22-31姪浜リードで前半を終える。

後半立ち上がり、宜野湾は#4上間、#9与那嶺のジャンプシュート、姪浜は#10入山の合わせからのシュート、#11山崎の3Pがそれぞれ決まるも一進一退。まさに、両エースの点の取り合いの様相を呈している。両者とも激しいディフェンスとルーズボールで白熱した試合になる。残り1分40秒、36-46で姪浜が1回目のタイムアウトをとる。その後宜野湾はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、仕掛けていく。しかし、均衡した状態は変わらず38-47で第3Q終了。

第4Q、宜野湾の1-2-1ゾーンプレスで仕掛け、さらに#7仲本、#9与那嶺の得点を流すつかうとする。宜野湾#7仲本の連続ポイントにより3点差に縮まり、姪浜はたまたま2回目のタイムアウトを取る。そして、宜野湾の#7仲本の3Pが決まり、流れは宜野湾に傾きかけるが、お互いにディフェンスが激しくなる。その中で姪浜は#11山崎の3P、#4柿内の連続ポイントで突き放しにかり、残り5分、次は宜野湾がタイムアウトを取る。その後も、意地と意地のぶつかり合いのプレーが展開される。均衡状態から姪浜#5日野のタップシュート、#11山崎のレイアップが決まり、宜野湾2回目のタイムアウト。タイムアウト後、宜野湾#6安里の3Pなどで激しい追いつこうとするが、落ち着いたボール運びをする姪浜が66-54で勝利。

記載者 板井、市川 (所属) 大分県バスケットボール協会